ＪＨＦ理事会議事録

日 時: ２０２３年５月１２日(金) １３:００～１６:３０

場 所: ＪＨＦ事務局会議室(北区中里１－１－１－３０１）/ZOOM 会議

1. 議長・議事録作成人指名

議長： 小林秀彰　　議事録署名人：出席理事監事全員

2. 定足数確認

出席【理事】

芦川雄一郎　竹村治雄　安田英二郎

オンライン(ZOOM)　大沢　豊　小林秀彰　山口隆文　濱田　革（１５時～）

【監事】　大森健一　岩村浩秀

（出席理事７名 今理事会は定足数を満たし成立した）

欠席【理事】　橋田明夫

４　審議事項

第4-1号議案　ＪＨＦフライヤー会員規程、ＪＨＦ入会及び退会規程の承認について

小林副会長より、文書理事会で決議した会員制を１年会員のみとすることについて、制度委員会が検討し規程案が出た旨の説明があった。

芦川副会長：会員規程の４行目「わが国のハンググライディングスポーツの健全な…」にパラグライディングは入れないか？
議長（小林副会長）：ＦＡＩ区分ではハンググライディングスポーツにパラグライダーも含まれる。
安田会長：機材よりぶらさがって飛ぶスポーツでハンググライディングスポーツになっている。
議長（小林副会長）：どちらにするか多数決を取る。
　ハンググライディングスポーツの健全な…　３名
　ハング・パラグライディングの健全な…　２名

発効日は、総会でＪＨＦ会員会費規約が承認されてからになるが、７月以降で何月から１年会員のみにするか。
事務局意見として、フライヤー会員登録払込票、リーフレット等を直す必要が出るため、可能であれば次年を目処にしたい。
竹村理事：１年会員のみになったと文書を入れればよいし、３年の案内は消して送ればよい。
山口理事：継続は個人で銀行振込等にして、新規のみ紙にしたらどうか。
事務局：更新事務手続きで手間がかからないのはシステム上、コンビニとウォレット（Pay等）払いになる。個人銀行振込は会員確認が必要になる。
安田会長：告知期間は必要。
竹村理事：総会後に３年会員はなくなることを告知し順次書類は直す。１０月に用紙を変えて１月からは３年会員は受け付けない。

ＪＨＦフライヤー会員規程、ＪＨＦ入会及び退会規程について、総会でＪＨＦ会員会費規約が承認されたら理事会確認後施行する。
発効日は２０２４年１月１日発効。１月以降に３年会費を振り込んだ場合は返金する。

出席理事全員（議長を除く５名）の賛成で承認

第４－２号議案　２０２２年度事業報告の承認について
安田会長より事業報告について説明があった。委員会報告で一部修正を入れて理事会で確認をする。
出席理事全員（議長を除く５名）の賛成で承認

２０２２年度事業報告、委員会報告は一部追記、修正をして確認することで決定した。
総会にて正会員へ報告し、内閣府へ提出する。

第４－３号議案　２０２２年度決算について
芦川副会長により決算について説明があった。
山口理事：理事会開催費の内訳で、１２月紀の川４０周年イベントについては、理事会開催費だけではなく普及活動費にも割り振りした方がよい。
一部修正を入れて理事会で確認をする。
出席理事全員（議長を除く５名）の賛成で承認

２０２２年度決算報告は一部修正をして確認することで決定した。
総会にて正会員へ報告し、内閣府へ提出する。

第４－４号議案　２０２３年度通常総会議事・議題等について
安田会長から説明があり、総会議事・議題について確認した。
出席理事全員（議長を除く５名）の賛成で承認

２０２３年度総会次第が決定した。定款による目的事項送付期限である通常総会（６月１３日）の４週間前（５月１６日）に事務局から正会員宛にメールにて送付した。

第４－５号議案　ＪＨＦ技能証規程一部改正について
山口理事より教員・スクール事業委員会からの提案で、教員及び助教員の申請において「住民票所在地である都道府県連盟の推薦を受けること」という条項から「住民票所在地」という条件を削除することの説明があった。
竹村理事：「住民票所在地である」だけでは所属していない都道府県連盟から推薦も出来てしまう。「所属する都道府県連盟の」とすべきではないか。
山口理事：所属については、各都道府県連盟規約になる。
竹村理事：推薦をお願いするには県連所属が必要とは思う。推薦をするのは各都道府県が認識して推薦してもらいたい。

小林副会長：都道府県連盟の推薦権の３つは、日本選手権、教員・助教員、役員である。人物を評価して推薦してもらう重要な案件であるため、改定をするのであれば総会に諮った方がよい。ＪＨＦの推薦基準の標準的なものを作り都道府県連盟にお願いした方がよい。
竹村理事：教員・助教員は検定を受ける必要があり推薦の意義が違う。住民票所在地の県連が教員を推薦しない問題があることもあり、総会に諮る必要はないと思う。
山口理事：パラグライダーの教員には、指導能力、安全管理等、能力により指導、普及活動をしてもらう。県連との仲違いで制限されることは損失である。
安田会長：基本的には賛成であるが、教員・教員推薦に限るか、事業費の分配に影響するのか等、総会決議ではなくても考え方を説明する準備が必要である。
小林副会長：福岡県連には推薦基準がある。不公平感が出るのであれば各県連に推薦基準を作ってもらう。
大沢理事：今回は技能証規程の一部改定なので、それだけ決めればよい。
竹村理事：総会で意見を聞いてから理事会で決めたらどうか。
安田会長：今回は決議を取らず改正の方向ではあるが、文言の修正等もあるため制度委員会にまず任せる。
小林副会長：制度委員会に諮問します。総会では方向性の説明をする。

５　協議事項

第５－１　神奈川県連からの質問状について

神奈川県連からの質問について、教員検定員検定会で、検定について事前に説明している。担当理事（山口理事）と教員・スクール事業委員会で検討をし、今後は直接問い合わせしてもらうようにも明記して文書を作成、理事会に提出をして神奈川県連に回答する。

…　濱田理事出席　…

第５－２　アジア競技大会ついて

安田会長：２０２６年アジア競技大会についてＪＡＡから立候補するかの打診があった。マンパワーも予算もなく難しい。
山口理事：地方自治体や予算のやり取りが実際に出来る人がいるのか、難しいと思う。カテゴリー２クラスの大会が出来ないといけない。ＪＨＦから愛知県連に話は通した方がよい。
濱田理事：メールでは選手でやりたい人がいる。
山口理事：組織委員会、体制、プレ大会の予定等を出してもらい可能かどうか決めた方がよい。
大沢理事：ハングは時間や現場のスタッフも含め難しいことで見送る。パラも地元に意向を聞いた方がよい。
安田会長：ＪＡＡから打診が来たこと、理事会では難しいという判断であることを事務局から愛知県連へ伝えることにする。

第５－３　ＪＨＦ助成金交付規程ついて

助成金交付規程について事務局に申請について問い合わせが来ている。基本的には理事会で決まる。濱田理事より、Ｑ＆Ａの形で掲載をしたらどうかとの案が出た。

芦川副会長：期限が２週間前となっているが予算の関係でもし先に出されたらもう助成金は出せない。
小林副会長：年間コンペにした方が予算を取れるからよいのでは？
安田会長：今回はX-alpsのためで、どんどん申請が出る話ではない。
大沢理事：X-alpsに間に合うのですか？
竹村理事：申請が出たら文書理事会にする。
芦川副会長：この規程を積極的に押していくのか？無制限に申請が来る。
安田会長：X-alpsのために作った制度なので、毎年あることではない。広く波及していくことではないので、先のことは考えなくてもよい。
濱田理事：Ｑ＆Ａの中に広く一般社会へPR効果があるか等を入れている。これを前面に入れたらどうか、全国的に取り上げられる等で文書を再作成して理事会に提出する。

第５－４　ＪＨＦ事業のあり方検討委員会の設置について
濱田理事より、所属する県連により競技会に参加する以外に恩恵を受けられない、各県連で執行体制や予算が大きく異なる等があるため、検討委員会を設置したらどうか。各都道府県連盟にも意見をもらう提案があった。
竹村理事：フライヤー会員等の意見を聞くことはよいが委員会を作ることは疑問もある。
山口理事：盛り上がっているところを盛り上げるか、人数が少ないところを後押しするか話し合いが必要。大都市部には予算が多い。弱い場所でイベントをする等、方向性を決めて検討してもよい。
小林副会長：ブロック性で運営をしたらどうか。例えば九州選手権は今年からは福岡で開催する。少ない県は難しいので周りの県が応援、イベントを一緒にやる。
山口理事：ブロックにした場合隣の県連との仲はどうか。そういう話の場を設けるのが濱田理事の提案では？
竹村理事：組織の運営については理事会が責任を持って考えるべき。正会員の考え方も色々あり、都道府県連盟が正会員なので、少人数でも大勢でも正会員で難しいところはある。正会員の意見も聞いて、どういう方向性でやっていくか。
安田会長：正会員のあり方については、実質的な面で県連は事業費があるが、フライヤー会員については還元策を考えた方がよいと思う。
竹村理事：会員向けにもう少しきめ細やかな情報を出す必要も感じる。
濱田理事：意見も踏まえてもう一度検討課題を整理する。

６　報告事項
６－１　予算実績表
資料に基づいて予算実績を確認した。

６－２　フライヤー会員数、技能証発行件数

この議事録が事実と相違ないことを確認し記名押印する。（出席理事）
理事

芦川雄一郎　印

大沢　豊　　印

小林秀彰　　印

竹村治雄　　印

濱田　革　　印

安田英二郎　印

山口隆文　　印

監事

大森健一　印

岩村浩秀　印

議事録作成　桜井加代子